

豊明市事務事業評価票（17年度事業） ソフト事業及びハード事業用						
事業名		樺庵（茶室）運営事業				
総合計画上の事業名		樺庵（茶室）の運営に関すること		担当課 文化会館		
予算事業名		茶席運営委託		担当係 文化振興係		
事業の内容		樺庵で行う茶席の運営（呈茶）を文化協会に委託				
事業の目的		茶席の運営を文化協会に委託する事によって、日本古来の文化である「お茶」の普及に努め、樺庵の稼働率を上げる。				
指標		年間呈茶利用人数（16年度 呈茶会席日年間約100日×1日の目標人数5.5人＝550人） 目標値については、毎年度30人の来客増を目指すものとする。				
事業実績及び目標値		【実績値及び目標値】				
			実績(人)	目標(人)	職員数	事業費（決算見込額）千円
		平成14年度	538		0.1	500
		平成15年度	521		0.1	500
		平成16年度	568	550	0.1	500
		平成17年度	462	580	0.1	500
		平成18年度		600	0.1	500
		平成19年度		620	0.1	500
		平成20年度		640	0.1	500
総合評価及び今後の対応		【達成率】		79.7%	成果指標の当該年度目標に対する達成度	
		【必要性】 B		必要性、有効性、効率性、市民満足度については、 チェック表を基に A 大いにある、B 普通、C ほとんどなし から選択		
		【有効性】 A				
		【効率性】 B				
		【市民満足度】 B				
		【総合評価（担当課）】 B		総合評価については、 A 予定どおり進める B 見直しが必要(手法等) C 見直しが必要(縮小) D 廃止が相当 から選択 評価理由についても 記載してください		
		施設形態等で茶室という用途を損なわない程度に広間の 形態を変えていく事が望まれる。				
		【総合評価（審査会）】 B				
		利用者の増加策について検討すること				
		【総合評価（最終評価）】 B				
		【改革プラン】 総合評価がB、C、Dの場合記入				
		立礼式（椅子席）の増加及び野点（野外の茶席）等の開催も含め市民の 方々に気楽にお茶に親しんで頂けるような工夫改善が弱かった。				
		【改革プランへの対応】（何をどのように実施したか）				
立礼式（椅子席）にカーペットを敷き、より快適な空間にした。ホーム ページ・催物案内・広報におけるPRの強化を進めた。なお例年に比 べ、利用人数が低下したのは、専用利用の増加と、呈茶開催日の減少が 要因である。						